



東原小学校キャラクター
「かめっち」

CS 便り



第3号 令和6年2月1日号

1月24日（水）に令和5年度の第4回学校運営協議会（コミュニティ・スクール【CS】）が、開かれました。※内容や様子は、学校ホームページでお知らせしていますので、ご覧ください。

今年度も残り少なくなりましたが、応援隊のみなさんには、いろいろな活動でお世話になっています。

～東原小学校応援隊の活動の様子から

・ 1年生（昔遊び）

生活科の学習で、コマ回しやけん玉に挑戦しました。応援隊のみなさんに声をかけていただいたり、コツを教えていただいたりする中、子どもたちは夢中になって何度も何度も挑戦しました。

けん玉の教室では、しばらくすると次々とお皿に乗せられるようになりました。「見て！」「できた！」と喜びの声が上がりました。

コマ回しの教室では、手取り足取り教えていただき、回す格好もそれらしくなっていました。同時に4つのコマが回っていて、「すごい！」「いっぱい！」と大喜びでした。



・ 5年生（初めてのミシン）



5年生の家庭科では、初めてミシンを使ってエプロンを作る学習をしています。初めてだからドキドキです。何人もの応援隊の方が支援してくださることについて、次のような声がありました。

- ・ 初めてのミシンでわからないことばかりなので、近くにいてくれてすぐに聞けるので有難い。
- ・ 近くでいろいろと教えてくれるので安心。
- ・ いろいろな人がいて雰囲気明るくなって楽しい。

応援隊の方と楽しそうに会話する姿も見られます。

・ 6年生（初めての試み：地域での清掃活動）

6年生の家庭科で自分の身の回りを整理する学習があります。今回は、日頃お世話になっている地域のためにできることを考え、地域（さくら公園・芹沢公園・桜並木）の清掃をすることにしました。子どもたちが地域に出ていく活動を始めて行うことができました。

拾ったゴミを分別しながら集めてみると、かなりの量がありました。ゴミ袋を持って歩いていると「おっ、ありがとう！」と声をかけてくださる方もいました。自分たちもよく使う場所で、地域の方々も自分たちも気持ちよく過ごせるとうれしいですね。



初めて応援隊の方に参加した方は「子どもたちと一緒に活動できて楽しかったです。」とお話してくださいました。このような活動を通して、子どもたちが地域の一員であることを実感して、地域とつながりを持つことの大切さに気づいていけるといいです。今後も続けたい活動になりました。